

取扱説明書

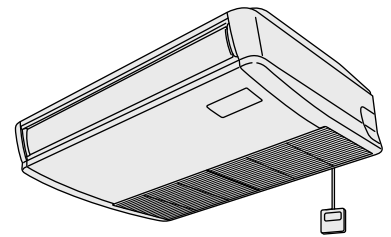
ガスヒートポンプエアコン

S-TS1 シリーズ

室内ユニット

天井吊形

| | | |
|---------------|-----------|-----------|
| 品番 : S-G36TS1 | S-G45TS1 | S-G56TS1 |
| S-G71TS1 | S-G80TS1 | S-G90TS1 |
| S-G112TS1 | S-G140TS1 | S-G160TS1 |
| S-GE140TS1 | | |



このたびは、ガスヒートポンプエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 本書は多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT4C）をお買い上げいただいた場合の取扱説明書です。
多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT4C）の取扱説明書も合わせてお読みください。
その他の多機能ワイヤードリモコンまたは、ワイヤレスリモコンをお買い上げの場合は、それぞれの取扱説明書も合わせてお読みください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（3～5ページ）を必ずお読みください。
- 保証書（室外ユニットに添付）は「試運転お引渡し完了日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- お読みになったあとは、いつでも見ることの出来るところにお客様ご相談窓口（別紙）、保証書とともに大切に保管してください。

もくじ

| | |
|---------------------|-----|
| 特長とおねがい | 2 |
| 安全上のご注意 | 3 |
| 各部の名前 | 6 |
| 初期設定 | 9 |
| 運転のしかた | 10 |
| 便利な機能 | 14 |
| 上手な使いかた | 16 |
| 据え付けについてのご確認 | 16 |
| お手入れのしかた | 17 |
| 知っていただきたいこと | 19 |
| 緊急時の場合は | 20 |
| 故障かな？ | 22 |
| 運転のしくみ | 24 |
| 仕様 | 24 |
| 点検契約について | 25 |
| 保証とアフターサービス | 26 |
| 冷媒漏えい点検のお願い | 26 |
| 主要部品の点検と保全周期の目安について | 27 |
| ご確認ください | 裏表紙 |

フロン排出抑制法 第一種特定製品



- 1) フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- 2) この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
- 3) 冷媒の数量は、本ユニットが接続されている室外ユニットや接続室内ユニット台数、配管長等により異なります。
システム全体での数量は、室外ユニットに記載されています。
- 4) 使用しているフロン類の地球温暖化係数は、2090 です。

据付工事説明書・据付電気工事
説明書（電気工事編）別添付

上手に使うって上手に節電

特長とおねがい

ガスヒートポンプエアコン（GHP）について

ガスヒートポンプエアコン（GHP）は、エアコンの心臓部にある圧縮機を、ガスを燃料としたエンジンにより駆動するシステムです。

- ・ 低外気温度時でも霜が付きにくいので、除霜運転がほとんどない安定した暖房運転ができます。
- ・ 消費電力は約 1 ～ 2 kW なので、受電設備の軽減につながります。

快適に使用していただくためには、自動車のエンジン同様、専門のサービスマンによる定期点検が必要です。必ず定期点検を実施してください。

定期点検契約を結んでください

サービス会社による点検契約制度がありますのでご利用ください。

定期点検を行わないと、

- ・ エンジンオイルが劣化するなど、故障の原因になります。
- ・ エアクリーナーが詰まり、一酸化炭素が発生したり性能が低下したりする場合があります。

定期点検のお願い

エンジンオイル、オイルフィルターは定期交換してください。

オイル交換を忘れてたり、指定品以外のオイルを使用しますとエンジンに悪影響を与え、故障の原因になります。点検契約に加入されますとサービス会社の GHP 専門サービスマンがオイル交換を行います。

- ・ オイル交換作業はお買い上げの販売店またはサービス会社にご相談ください。

注意

- ・ オイルを入れすぎるとエンジンに悪影響を及ぼします。

長期使用について

GHP 室外ユニットの設計寿命は、設置後 13 年または運転時間が 30,000 時間です。

設計寿命を超えてのご使用は、使用のしかたによっては重大な事故につながるおそれがあります。

設計寿命を超えてご使用になる場合は、お買い上げの販売店または別紙“お客様ご相談窓口”にご相談ください。

点検整備について

エアコンを数シーズンご使用されますと、内部が汚れ、能力が低下することがあります。

定期点検とは別の**点検整備**をおすすめします。

点検整備は、お買い上げの販売店またはサービス会社にご相談ください。（定期点検とは別費用になります。）

点検整備の項目例：

- 室内ユニット熱交換器の洗浄
- 室外ユニット熱交換器の洗浄
- 室内ユニットドレンパンの洗浄
- 室外ユニットドレンパンの洗浄
- 室外ユニットドレン配管の清掃

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。



警告



**漏電しゃ断器を
取り付け**

必ず守る（感電や火災の原因）



**必ずエアコン専用の
電源を使う**

必ず守る（発煙・発火・感電の原因）



**別売品は必ず当社指定の
製品を！**

必ず守る（水漏れや感電・火災の原因）
別売品の取り付けは、専門業者に依頼してください。



禁止

**室外ユニットの燃料ガス
が漏れている場合は、エ
アコン運転を停止し、燃
料ガス元コックを閉じる**

最寄りのガス会社や販売店またはサービス会社に修理を依頼してください。

【燃料ガス漏れ修理後の運転】

- ・ 漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。
- （火災などの原因）



禁止

お手入れ時は

- お客様自身で、内部の洗浄はしない。
- （水漏れや発煙・発火の原因）



必ず守る

**室外ユニット排気ドレン
と、室内ユニットドレン
が共用されていないこと
を確認する**

（共用されていると排気ガスが室内に流入し、中毒などの原因）

**異常・故障時には直ちに使用を
中止し、漏電しゃ断器を切る**



必ず守る

異常・故障例

- ・ スイッチを入れても運転しない。
- ・ 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- ・ 漏電しゃ断器がたびたび切れる。
- ・ 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店またはサービス会社へ点検・修理を依頼してください。

（発煙・発火、感電の原因）



必ず守る

使用ガス種を確認する

（ガス種をまちがうと、エンジン燃焼不良となり、排気ガスによる中毒などの原因）

安全上のご注意 (つづき)



警告



必ず守る

据え付けや移動・修理は

- 必ず販売店またはサービス会社や専門業者に依頼する。
(水漏れ・感電や燃料ガス漏れによる火災の原因)



必ず守る

据え付けや移動・修理完了時には、販売店またはサービス会社や専門業者に次のことを確認する

- 冷媒が漏れていないこと。
(冷媒が火気に触れると有毒ガス発生の原因)
通常使用では漏れませんが、冷えない・暖まらない場合は、漏れている可能性があるため、販売店またはサービス会社へご相談ください。
- 指定冷媒を使用していること。
(指定以外の冷媒を使用すると、機器の故障や破裂、けがなどの原因)
- アースと漏電しゃ断器が設置されていること。(感電の原因)
- 小部屋などに据え付けられている場合は、開口部や換気扇が取り付けられていること。(冷媒が漏れて限界濃度を超えると酸欠事故の原因)



禁止

冷媒が漏れているおそれのあるときは

- ファンヒーターやストーブ・コンロなどの燃焼器具を使用しない。
(冷媒が火気に触れると有毒ガス発生の原因)
部屋の換気を行い、販売店またはサービス会社に点検を依頼してください。



禁止

冷やし過ぎ(暖め過ぎ)ない

- 長時間、冷風(温風)を体に直接当たらない・冷やし過ぎ(暖め過ぎ)ない。
(体調悪化・健康障害の原因)



禁止

本体やリモコンは

- ぬれた手で操作しない。
(感電や故障の原因)



禁止

室内・室外ユニットは

- 吹出口に指や棒などを入れない。
(内部でファンが高速回転しているため、けがの原因)
- 室外ユニットは上に乗ったり、物を載せたりしない。
(落下・転落によるけがの原因)



禁止

改造・改修は絶対にしない

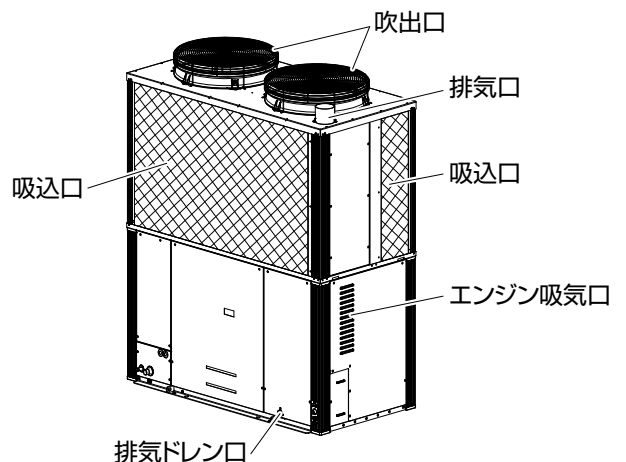
- (修理に不備があると、水漏れ・感電や燃料ガス漏れなどによる火災の原因)
修理は必ず販売店またはサービス会社にご相談ください。



禁止

室外ユニットは

- エンジン吸気口、排気口および排気ドレン口をふさがない。
(エンジン燃焼不良となり、火災や排気ガスによる中毒などの原因)
- 室外ユニット・エンジンの排気ガスが建物に入らないようにする。
(排気ガスによる中毒などの原因)



⚠ 注意



禁止

室内ユニットは

- 吸込口やアルミフィンに触らない。(けがの原因)
- 室内ユニットの真下や近くに、他の電気製品や家財・備品などを置かない。(水滴が落ちて、汚損や故障の原因)
- 風を動植物に直接当てない。(動植物に悪影響をおよぼす原因)
- 可燃性スプレー(ヘアスプレーや殺虫剤など)を直接吹きかけない。エアコンの近くに置かない。(発火の原因)
- 他の目的に使用しない。
食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途に使用しない。(品質低下の原因)



禁止

ドレンは排水を確実にし、排水口をふさがない

(屋内に水漏れして、備品などの汚損の原因)



禁止

リモコンは絶対に分解しない

(感電や故障の原因)



禁止

室外ユニットは

- 吸込口やアルミフィン*に触らない。(けがの原因)
- 室外ユニットの上に水の入った容器を置かない。(漏電による感電や発火の原因)



禁止

室外ユニットの排気口を触らない

(やけどの原因)



必ず守る

お手入れ時は

- 必ず運転(内部クリーン運転または内部乾燥運転を含む)を停止し、漏電しゃ断器を切る。(感電や、ファンが高速回転しているためけがの原因)
- 高所作業をするときは足場に気をつける。(落下・転倒によるけがの原因)
- 室内ユニットに洗剤スプレーや水をかけない。(電気ショートにより感電や発火の原因)



禁止



必ず守る

燃焼器具といっしょに運転するときは

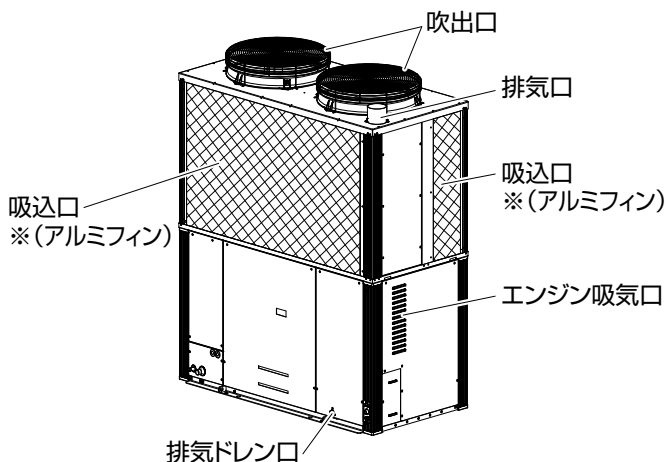
- こまめに換気する。(酸素不足による頭痛などの原因)
- エアコンの風が直接当たらない場所で使用する。(燃焼器具の不完全燃焼による酸欠の原因)



必ず守る

可燃性ガスの漏れや揮発性引火物を取り扱う場所に設置されていないことを確認する

(可燃物や引火性ガスへの引火による火災の原因)

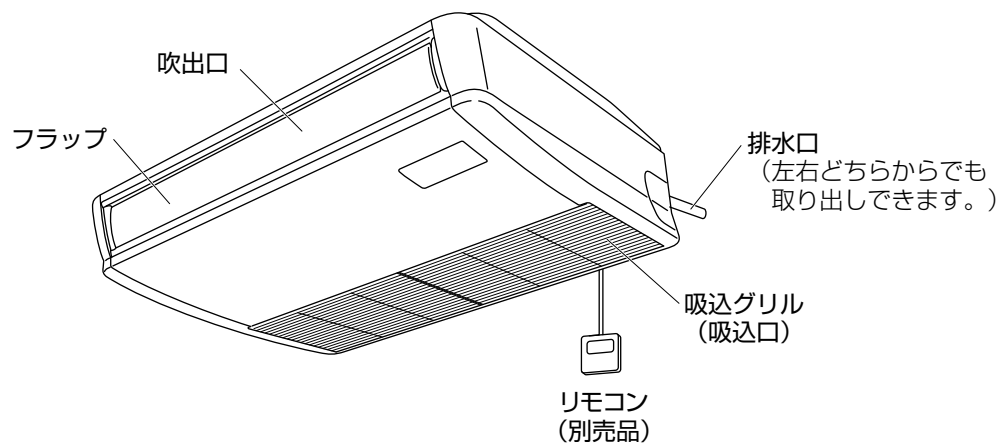


各部の名前

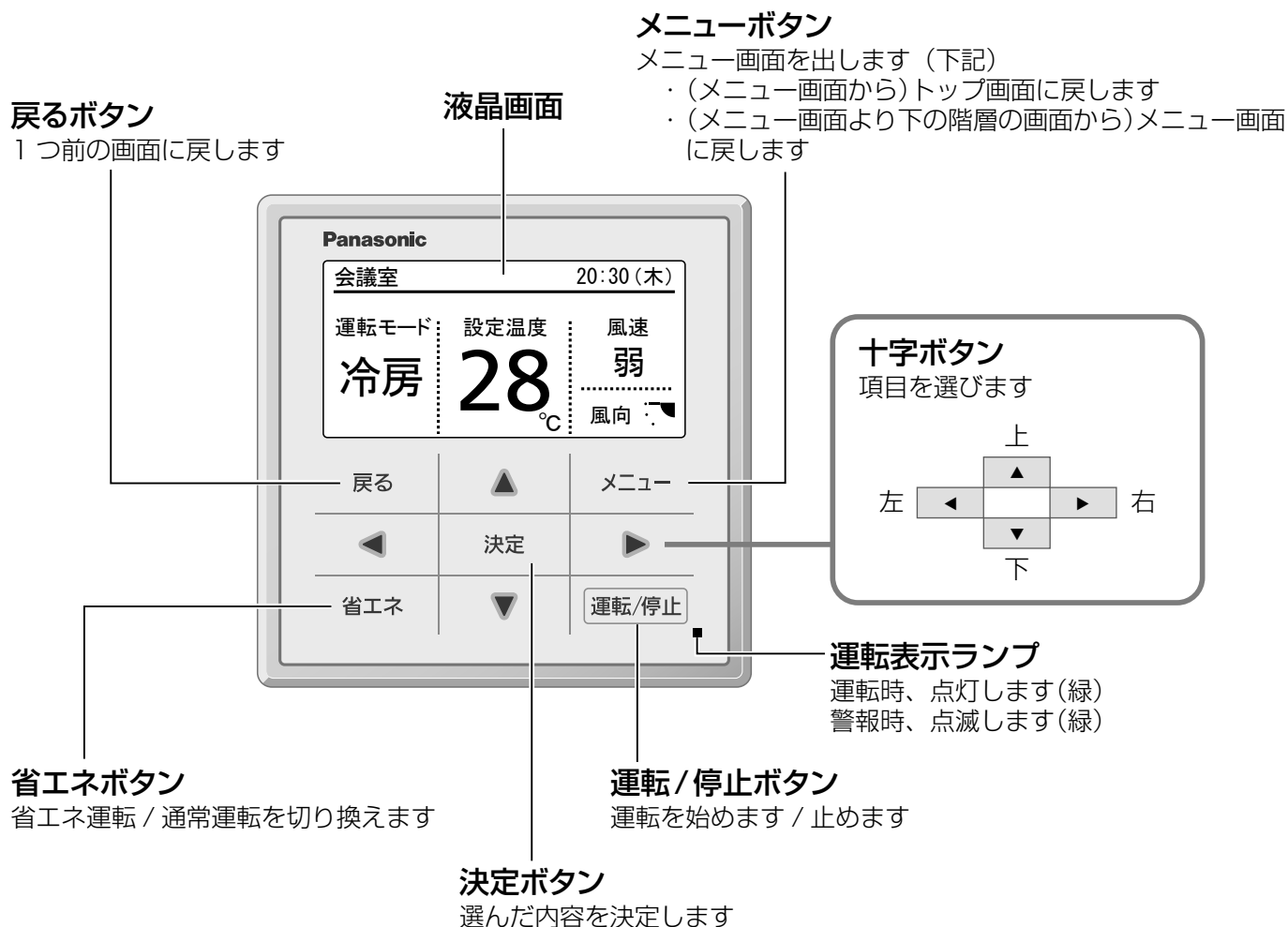
室内ユニット

■天井吊形

S-TS1 シリーズ



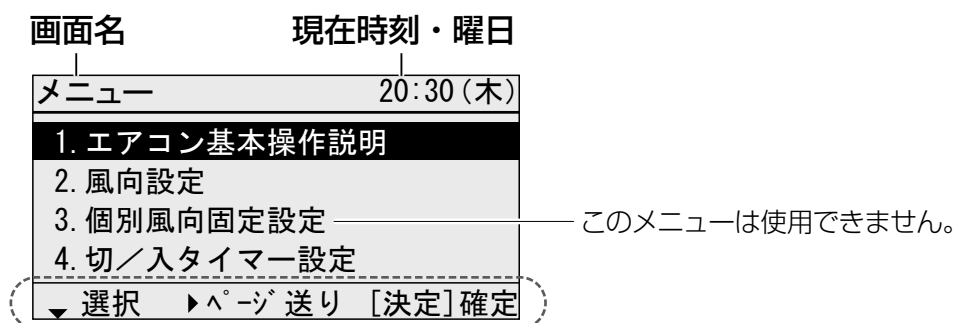
多機能ワイヤードリモコン (別売品 : CZ-10RT4C)



お知らせ

- 操作は、ボタンの中央付近を押してください。
- 手袋を着けた状態では、操作できません。
- スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。
- 操作ボタンが汚れている場合は、汚れをふき取ってください。(日常のお手入れ 18ページ)

メニュー画面



操作ガイド 現在操作できる内容が表示されます。
 ・ ▲▼◀▶ : 十字ボタン
 ・ [決定] : 決定ボタン

各部の名前

トップ画面



■ トップ画面に表示される設定情報アイコン

| アイコン | 内 容 |
|------|--|
| | 室内ユニットのフィルター清掃が必要 |
| | 熱交換気ユニットのフィルター清掃が必要 (熱交換気ユニット接続時のみ) |
| | オイル点検が必要 (19 ページ) |
| | 運転モードの切り換えを禁止中 |
| | 集中制御機器からリモコン操作を制限中 |
| | 切 / 入タイマー設定中 |
| | ウィークリータイマー設定中 |
| | 省エネ運転中 |
| | 外気をそのまま取り入れ換気中 (熱交換気ユニット接続時、市販の換気扇等の接続時のみ) |
| | 外気を室温に近づけて取り入れ換気中 (熱交換気ユニット接続時のみ) |
| | 室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り換え換気中 (熱交換気ユニット接続時のみ) |

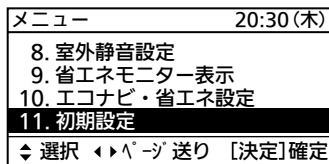
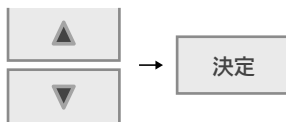
設定方法については、多機能ワイヤードリモコン (CZ-10RT4C) の取扱説明書をご覧ください。

初期設定

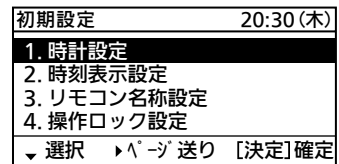
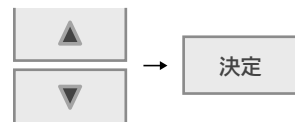
1 メニュー画面を出す
メニュー を押す



2 「初期設定」を選ぶ



3 設定する項目を選ぶ



■ 1つ前の画面に戻るとき

戻る を押す

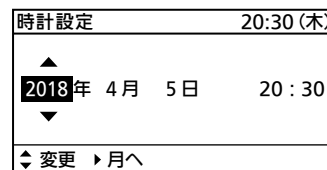
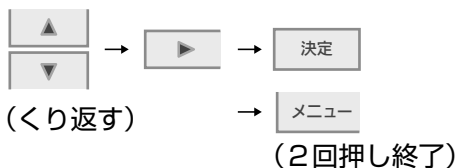
お知らせ

● 「時刻表示設定」で「AM・PM表示」を選んでも、タイマー設定や省エネ設定などの設定時刻は、24時間表示のままです。

4 設定を変える

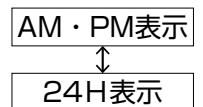
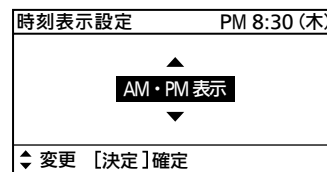
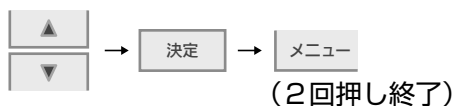
時計設定

日時を設定する



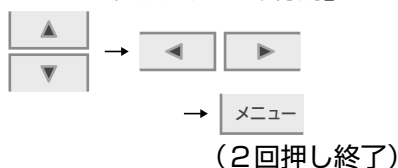
時刻表示設定

表示の種類を選ぶ

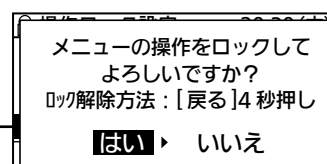
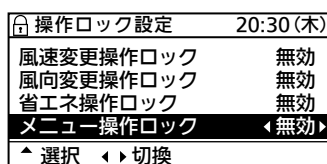
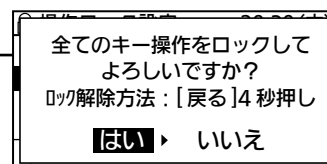
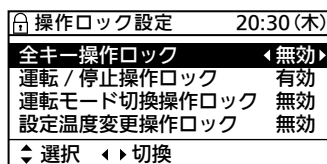


操作ロック設定

ロックの種類を選び「有効」にする



「全キー操作ロック」および「メニュー操作ロック」のときのみ

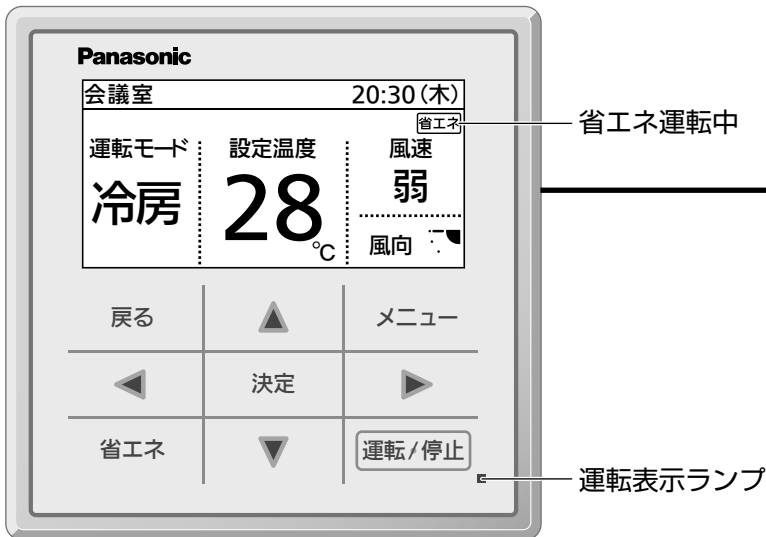


運転のしかた

冷暖自動・暖房・ドライ・冷房・送風

運転開始の5時間以上前に漏電しゃ断器（電源）を入れる。（本体保護のため）

- 1 運転を始める（運転表示ランプ点灯）
運転/停止 を押す



冷房や暖房など
運転モード
を変えるとき

設定温度
を変えるとき

風速
を変えるとき

風向
を変えるとき

お知らせ

- 設定できない運転モードは表示されません。
- リモコンのスイング・風向の表示は、フラップの動きと同調していません。
- 停電の後、通電後に「運転/停止」を押すと、停電前の内容で運転を再開します。
- しばらくするとバックライトが消えます。（節電のため）何かのボタンを押すとバックライトが点灯します。
- 暖房時、運転開始から設定した風速になるまでに時間がかかることがあります。（24 ページ）
（吹出温度などの運転状況に応じて室内ユニットの風速は自動で切り替わり、リモコン表示とは異なる場合があります。）
- ドライ時は、設定温度に近づくと自動的に微風になります。（24 ページ）
- 設定温度は室内ユニットの吸込口付近の温度（目安）です。据付状態によって、室温とは多少異なります。
- リモコンに「暖房準備中」を表示中、風向は、設定に関係なく上向きになり、消灯後は、設定した風向きになります。
- 湿度の高い梅雨などに長時間運転をすると、露の滴下や、霧が吹き出すことがあります。
- 風速設定や冷房・ドライ時の風向設定が3段階の室内ユニットを親ユニット、本ユニットを子ユニットにしてグループ制御を行うと、設定できる風速および冷房・ドライ時の風向は親ユニットに従って3段階になります。

止めるとき

「運転/停止」を押す（運転表示ランプ消灯）

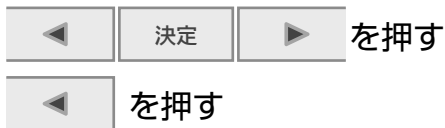
省エネ運転をしたいとき

運転中に「省エネ」を押す

- 最大電流値を制限した運転になるため、冷房や暖房などの能力は低下します。

2

設定する項目を選ぶ

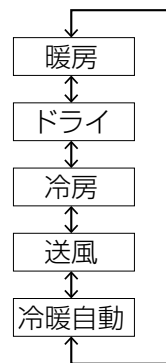


3

設定を変える



決定 を押す
(カーソルが消える)



※ 冷暖自動：
設定温度と室温の差を感知し、暖房または冷房を自動で選びます。

決定 を押す (カーソルが消えているとき)

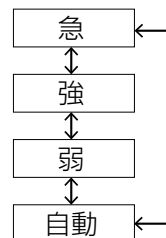


カーソル



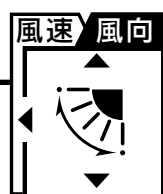
冷房・ドライ : 18℃～30℃
暖房 : 16℃～30℃
冷暖自動 : 17℃～27℃

▶ を押す



● 運転モードが「送風」の時は「自動」を選べません。

▶ を2回押す



■ 室内ユニットごとに風向を設定するとき (12ページ)

- : スイング
- スイング中に を押すと、お好みの位置でフラップを止めることができます。
- 冷房とドライの調節範囲は3段階 () です。その他の運転の調節範囲は5段階 () です。

運転のしかた

風向調節について

■ 1台のリモコンで、室内ユニットを複数台運転しているとき（グループ制御）

グループ制御されているエアコンは、ユニットごとに風向きが設定できます。（風向以外の運転内容はすべて同じになります。）風速設定や冷房・ドライ時の風向設定が3段階の室内ユニットを親ユニット、本ユニットを子ユニットにしてグループ制御を行うと、設定できる風速および冷房・ドライ時の風向は親ユニットに従って3段階になります。

1 メニュー画面を出す

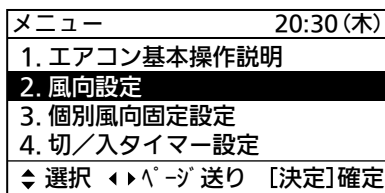
メニュー を押す



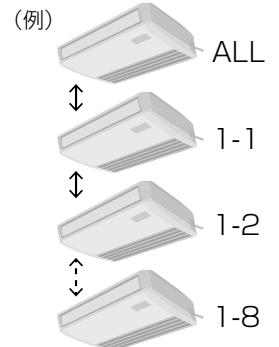
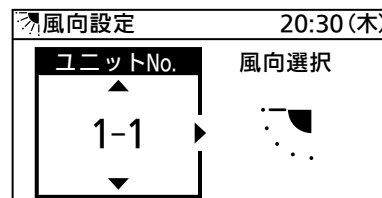
■ 1つ前の画面に戻るとき

戻る を押す

2 「風向設定」を選ぶ

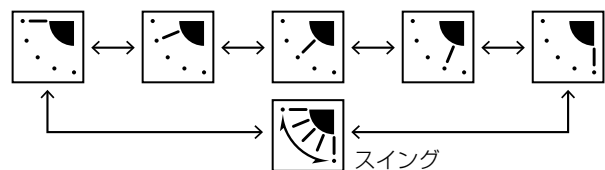
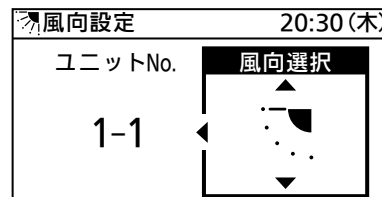
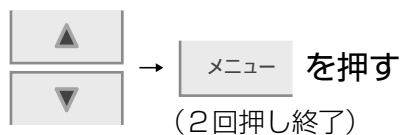


3 設定する室内ユニットを選ぶ



- ALL：リモコンに接続されている、すべてのユニット

4 風向を選ぶ

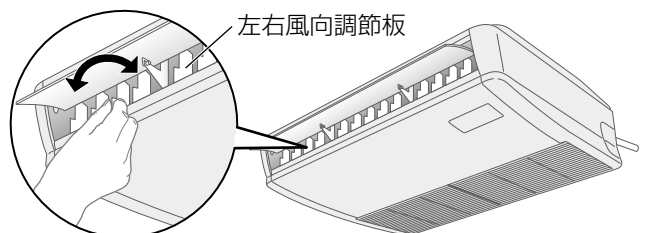


- スイング中に を押すと、お好みの位置でフラップを止めることができます。
- スイング停止中に を押すと、所定の位置にフラップが設定されます。
- 冷房とドライの調節範囲は3段階です。


手で直接調節する

■ 左右風向調節板は手で調節してください

吹出口にある左右風向調節板を動かして調節してください。



フィルターサインについて

- エアフィルターのお手入れ時期になるとリモコン表示部にフィルターサイン“”が表示されます。エアフィルターのお手入れ後（17ページ）は、フィルターサインのリセットを行ってください。ほこりや油汚れの多い環境では、表示に関係なく、こまめにお手入れしてください。

フィルターサイン



1 メニュー画面を出す

 を押す

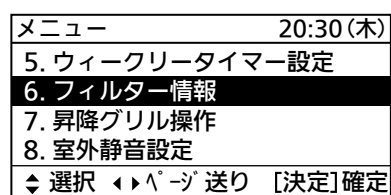


- 1つ前の画面に戻るとき

 を押す

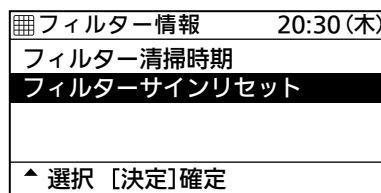
2 「フィルター情報」を選ぶ

 →  を押す



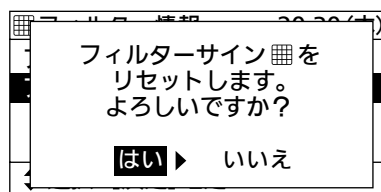
3 「フィルターサインリセット」を選ぶ

 →  を押す




4 「はい」を選ぶ

 →  を押す



5 トップ画面に戻る

 を2回押す




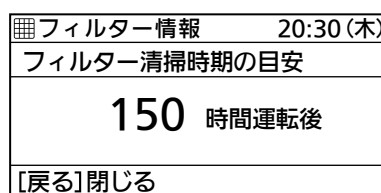
フィルターサイン
消灯を確認してください。

- 次のフィルター清掃時期は

手順 3 で「フィルター清掃時期」を選ぶ。

清掃までの運転時間を確認して


 を2回押す



(表示例)

便利な機能

切/入タイマー運転



決めた時間がたったら
運転を切/入したい

※3時間後に
設定

■切タイマーの使用例
朝までつけっぱなし...を防いで、ムダをカット!

運転 → 3時間 → 停止

切タイマー → 3時間 → 運転停止

■入タイマーの使用例
会議開始の時間に合わせて、エアコンをオン!

停止 → 3時間 → 運転

入タイマー → 3時間 → 運転開始

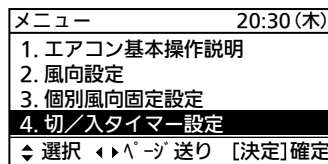
※運転中に設定すると停止します。

1 メニュー画面を出す
メニュー を押す

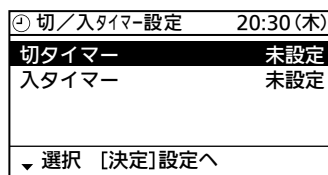


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

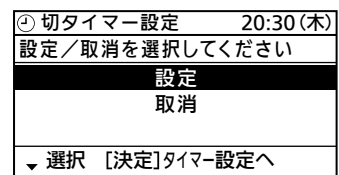
2 「切/入タイマー設定」を選ぶ



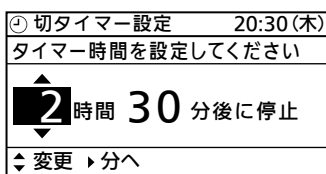
3 タイマーの種類を選ぶ



4 「設定」を選ぶ

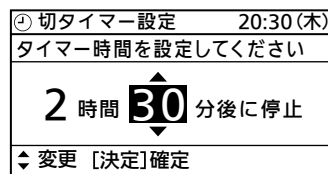
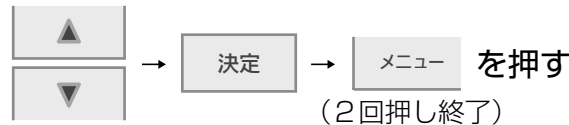


5 時間を設定する



● 上限：72時間（30分単位）

分を設定する



■タイマーをオフにするとき
手順 **1** から始め手順 **4** で「取消」を選ぶ。

お知らせ

- 切/入タイマーを同じ時間に設定すると、切タイマーが優先されます。
- タイマー設定は、一度作動（もしくは停止）するとリセットされます。

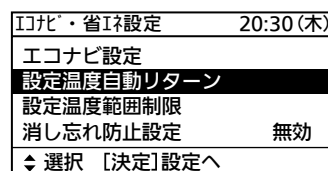
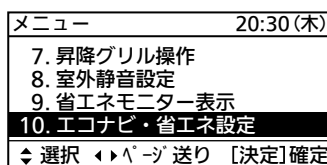
設定温度自動リターン機能

来客時など、温度を下げて（または上げて）設定した時間が過ぎると、登録した設定温度に自動で戻る便利な機能です。

来客時だけ
涼しくしたい!



- 1 メニュー画面を出す
メニュー を押す
- 2 「エコナビ・省エネ設定」を選ぶ
決定 を押す
- 3 設定する項目を選ぶ
決定 を押す



- 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

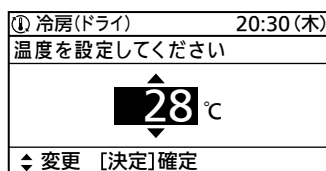
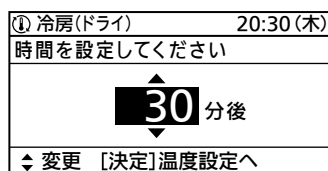
- 4 設定する項目を選び、「有効」にする



| 運転モード | 設定温度範囲 |
|---------|---------|
| 冷房（ドライ） | 18℃～30℃ |
| 暖房 | 16℃～30℃ |
| 冷暖自動 | 17℃～27℃ |

- 5 決めた温度に戻るまでの時間を設定する

温度を設定する



- 続けて設定するとき
メニュー を押さずに手順 4 からくり返す。

● 10～240分（10分単位）

お知らせ


- 設定温度リターンについて
「リターン動作」を「省エネ方向」にすると、変更された温度より手順 5 の温度の方が省エネになる場合のみ動作します。

(例) 冷房 26℃設定時、28℃に変更された場合
 ・「省エネ方向」のとき : 28℃のまま
 ・「通常」のとき : 26℃に戻る

上手な使いかた

エネルギーを節約し、快適にお過ごしいただくために次のようにお使いください。

● エアフィルターの掃除は定期的に

目詰まりしていると冷暖房能力が低下し、故障の原因になります。リモコンに“”表示されたときを目安に掃除してください。お手入れのしかた等は 17、18 ページを参照してください。

● 室内温度は適温に

冷しすぎや暖めすぎは健康によくありません。またエネルギーのムダ使いになります。

● 窓にはカーテンやブラインドを

冷房時、直射日光の当たる窓にはカーテンをひくか、ブラインドをおろしてください。

● 風向調整を上手に

室温のムラが少なくなるように、風向きを調節してください。

● ドアや窓は開けたままにしない

冷暖房効果が低下します。

据え付けについてのご確認

サービススペースについて

エアコンが正しく機能するため、または定期的な点検を行うために壁や障害物等から距離が必要です。寸法等の詳細は、室内ユニットに添付の「据付工事説明書」をご確認ください。

運転音にもご配慮を

△注意

次のような場所をお選びください。

● エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないような所。

● 室外ユニットの吹出口からの温風や運転音が、隣家の迷惑にならないような所。

室外ユニットの吸込口や吹出口の近くに障害物はありませんか？

機能低下や運転音の増大のもとになります。

エアコンの使用中に異常音がある場合は、「故障かな？」(22、23 ページ) をご覧いただき、お買い上げの販売店またはサービス会社にご相談ください。

据え付け場所について

△注意

次のような場所での使用は避けてください。

- 可燃性ガスの漏れるおそれのある所
 - 粉じんの多い所
 - 海浜地区など塩分の多い所
 - 温泉地帯など硫化ガスの発生する所
 - 水や油（機械油含む）の飛しょうや蒸気の多い所
 - 電圧変動の大きい所
 - 電磁波を発生する機械のある所
 - 有機溶剤や油（機械油含む）の飛しょうする所
- テレビ、ラジオ、パソコン等は

室内ユニットおよびリモコンから 1 m 以上離してください。映像の乱れや雑音が入ることがあります。

室内ユニットの近くで暖房器具を使用しないでください。

室内ユニットのプラスチック部分が熱により変形、変色することがあります。

降雪地帯では

室外ユニットに、雪よけの屋根および囲い等を必ず取り付けてください。詳しくはお買い上げの販売店またはサービス会社にご相談ください。

火災警報器と吹出口は 1.5 m 以上離してください。

電気工事について

△注意

※ 電気工事・アース工事〔D種接地工事〕を行うには資格が必要です。

お買い上げの販売店またはサービス会社に依頼し、ご自分では行わないでください。

電源はエアコン専用回路をご使用ですか？

他の電気製品と共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。

△警告

アース工事はされていますか？

感電事故を防止するため、アース工事〔D種接地工事〕が義務づけられています。

漏電しゃ断器を取り付けていますか？

漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

お手入れのしかた

注意



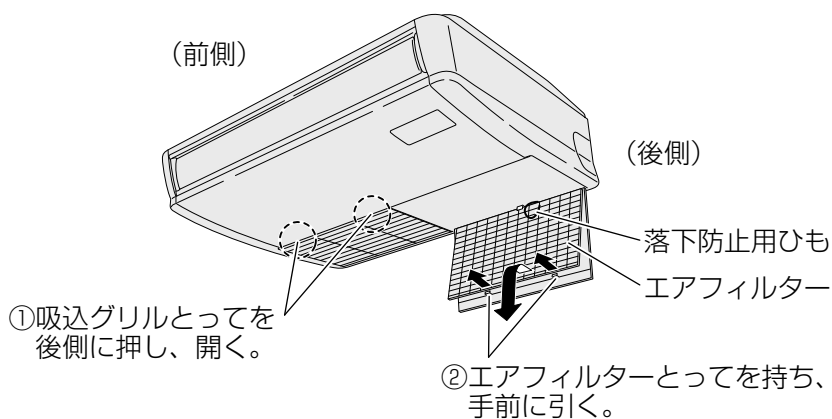
必ず運転を停止し、漏電しゃ断器を切る。
(感電や、ファンが高速回転しているため、けがの原因)

エアフィルターのお手入れ時期と取りはずしかた



- お手入れ時期は、フィルターサイン“罫”が表示されたときを目安にしてください。
エアフィルターのお手入れ後は、フィルターサインのリセットを行ってください。(13 ページ)
ほこりや油汚れの多い環境では、表示に関係なく、こまめにお手入れしてください。

●取りはずしかた



お願い

- お手入れ時に吸込グリル(吸込パネル)の落下防止用ひもを取りはずさないでください。
(落下によるけがの原因)

お手入れのしかた

日常のお手入れ

■エアフィルターは、ほこりを掃除機で吸い取るか水洗いする

(取りはずしかた 17 ページ)

- ・日陰で乾燥させてから、元どおりに取り付ける。

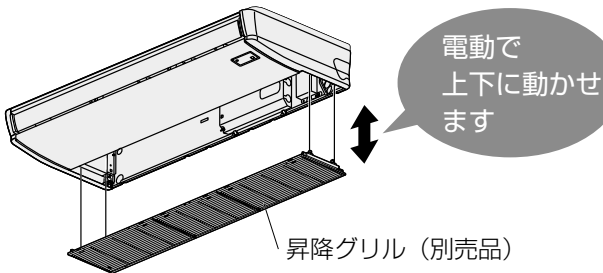


お知らせ

お手入れなどでエアフィルターを破損したときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

お手入れに便利な昇降グリル (別売品)

- ・昇降グリルを取り付けている場合は、高い天井に据え付けたエアコンのお手入れがラクにできます。
- ・詳細は、昇降グリルの取扱説明書をご覧ください。



■室内ユニットやリモコンは、柔らかい布でからぶきする

- ・汚れがひどい場合は、布に水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼってからふいてください。その後乾いた布でふいてください。

お願い

- 40℃以上のお湯を使わないでください。

(変形や変色の原因)

- 揮発性のものなどは使わないでください。

ベンジンやシンナー、磨き粉などでふいたり、市販の液状殺虫剤などをかけない。(変形や変色の原因)



- 次のようなもので乾かさないうでください。

ドライヤー、ストーブ、直射日光
(変形や変色の原因)

シーズンの終わり

1

晴れた日に、半日ほど送風運転をし、ユニット内部を乾燥させる
(10、11 ページ)

2

運転停止を確認し、漏電しゃ断器を切る
・電源が入ったままだと、電力を消費します。
・電源が切れると、ワイヤードリモコン表示部の仕切り線が消えます。
・電源が入ったままだと、運転停止してもファンが回転する場合があります。

3

エアフィルターを掃除する

(取りはずしかた 17 ページ)

→「日常のお手入れ」と同じ要領です。

シーズンの始まり

1

エアフィルターを掃除する

(取りはずしかた 17 ページ)

→「日常のお手入れ」と同じ要領です。

2

漏電しゃ断器を入れる


- ・必ず運転をする 5 時間以上前に入れてください。
- ・シーズン中は、漏電しゃ断器を切らないでください。

知っていただきたいこと

- このエアコンは居住空間の冷暖房装置です。動植物の飼育、栽培や食品貯蔵等に使用しないでください。屋外設置はできません。
- 運転中、雷・無線等により誤動作し、再運転しないときは、漏電しゃ断器を切ってください。再開するときは、もう一度漏電しゃ断器を入れたうえで、運転し直してください。
- 運転中停電した場合、すべての運転が停止したままになります。通電後、**運転/停止** を押すことにより、停電前の内容で運転を再開します。
- このエアコンはガスエンジンを使用しております。したがって定期的な点検（エンジンオイルの交換等）が必要です。

■ リモコンへの「オイル点検」表示について

ガスエンジンの運転時間が所定時間になりますとリモコンに“オイル点検”が点灯します。（右図）

“”が点灯した場合はお買い上げの販売店またはサービス会社に連絡し、定期点検を行ってください。

点検を行わないと所定時間以後、運転時間に応じた設定間隔ごとに運転を停止します。

そのまま放置しておきますと故障の原因となります。（スイッチの設定により、表示しない場合もあります。）



緊急時の場合は



警告



小部屋へ据え付ける場合は万一の冷媒漏れへの対策をする

限界濃度を
超えない
対策が必要

万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。限界濃度を超えない対策として、開口部や換気扇の取り付け等があります。

お買い上げの販売店またはサービス会社にご相談してください。

万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。



禁止

冷媒が漏れたら火気厳禁

エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店またはサービス会社にご連絡ください。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。

暖房能力について

外気の熱を吸収して室内に運び暖房するヒートポンプ方式です。外気温度が低下しますと、圧縮機の回転数を上げ、さらにガスエンジンの排熱によって能力の低下を防ぎます。

また、お部屋全体を暖める温風循環方式ですので、暖房運転を開始してから暖まるまで、しばらく時間がかかります。暖まりが不足するときは、他の暖房器具と併用してお使いください。

暖房準備について

暖房時、エアコン運転してすぐに送風を開始しますと、冷風が出て、肌寒さを感じることがあります。暖房準備とは、この冷風が出ないようにエアコン内部が暖まるまで送風を停止または微風運転にすることをいいます。この運転は次のような場合に行われ、動作中は暖房準備表示がリモコンに点灯します。

- ・ 運転開始時
- ・ 運転中にエアコン内部温度が下がったとき
- ・ 温度調節器がはたらいたとき

霜取りについて

このエアコンは、ガスエンジンの排熱により、外気温度が低く、湿度が高いときの室外熱交換器への霜を付きにくくしています。

そのため、霜取り運転をする必要がほとんどなく、暖房運転を行います。

※ 極度に室外熱交換器へ霜が付いた場合、霜取り運転を行うことがあります。

省エネについて

リモコンの省エネボタンを押すことにより消費電力、吹出空気温度をコントロールすることで省エネ運転を行います。

高圧ガス保安法に基づく届出

このエアコンは「高圧ガス保安法」の規制を受けますので、つぎの点にご注意ください。詳しくはお買い上げの販売店またはサービス会社にお問い合わせください。

- 警戒票の取り付け
室外ユニットに添付してありますので見やすい所へ貼ってください。

機器廃棄時の扱いについて

この製品は、「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

- この製品を廃棄またはリサイクル（部品や材料の再利用）する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。
- この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられています。



警告



禁止

燃料ガスが漏れたら火気厳禁

室外ユニットの燃料ガスが漏れている場合は、エアコン運転を停止し、燃料ガス元コックを閉じてから、最寄のガス会社・サービス会社または販売店に修理を依頼してください。

燃料ガス漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。



禁止

冷媒が漏れたら火気厳禁

エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店またはサービス会社にご連絡ください。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。



運転停止

漏電しゃ断器
を切る

異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して漏電しゃ断器を切る

異常のまま運転を続けると感電や火災、故障等の原因になります。お買い上げの販売店またはサービス会社にお知らせください。

● 通常の方法で停止できないとき

漏電しゃ断器を切るとともに燃料ガス元コックを閉じてからお買い上げの販売店またはサービス会社へお知らせください。

故障かな？

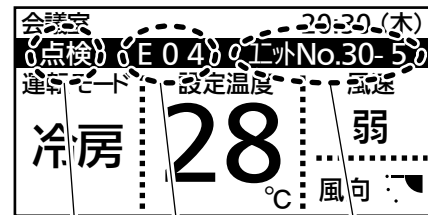
お問い合わせや修理を依頼される前に、まずご確認ください。

| 症状 | | 原因・対応 | ページ |
|---------------------|------------------------|--|---------------|
| 運転しない | | <ul style="list-style-type: none"> ● 漏電しゃ断器が切れていませんか？ →漏電しゃ断器がトリップ位置（途中で止まっている）の場合は、電源を入れずに販売店またはサービス会社にご連絡ください。（漏電を検知してます。） →漏電しゃ断器が完全に切れている場合は、安全を確認してから入れてください。 ● ガスの元コックが閉まっていませんか？ →閉じていたら、開けてください。 | — |
| よく冷えない よく暖まらない | | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内・室外ユニットの吸込口や吹出口のまわりを障害物でふさいでいませんか？ →障害物を取り除いてください。 ● 風速が「弱」になっていませんか？ →風速を「急」に切り換えてみてください。 ● エアフィルターが目づまりしていませんか？ →エアフィルターを掃除してください。 | — 10 18 |
| 音がする | 水が流れるような音がる | <ul style="list-style-type: none"> ● エアコン内部に冷媒が流れている音です。暖房時、停止中の室内ユニットでも若干の冷媒が流れ、音がる場合があります。 ● ドレンポンプで排水する音です。 | — |
| | 「ピシピシ」という音がる | ● 部品が温度変化により伸縮するためです。 | — |
| | 停止時に「チョロチョロ」というかすかな音がる | ● 他の室内ユニットが運転している場合、停止ユニット側にも冷媒が流れている音です。 | — |
| | 「カチカチ」という音がる | ● 冷房・暖房の切り替え時に電磁弁が作動している音です。 | — |
| 吹き出した風がおう | | ● 部屋のにおいやタバコ、化粧品などがエアコン内部に付着し、吹き出すためです。 →お買い上げの販売店またはサービス会社にご相談ください。 | — |
| 冷房運転中、吹出口付近に露がつく | | ● 空気中の水分が冷風で冷やされ、付着するためです。 | — |
| 霧が出る | 冷房運転中、白い霧が出る | ● 特に飲食店等、油類を多く使用する場所に取り付けられている場合は、室内ユニット内部が汚れているためです。 →お買い上げの販売店またはサービス会社にご相談ください。 | — |
| | 暖房運転中、白い霧が出る | ● 霜取運転中、まれに室内ユニットから白い霧が出る場合があります。 | — |
| 運転停止後もファンが止まらず回り続ける | | ● 室内ユニット内部（熱交換器）を乾燥させるため、しばらく回り続ける場合があります。 | — |
| 風向きがおかしい | 途中で変わる | ● 暖房運転中、吹出温度が低いときや霜取運転時に、自動的に水平吹きになります。 | — |
| | 設定できない | ● 冷房運転中、結露の滴下防止のためフラップが上向きになる場合があります。 | — |
| | 変わらない | ● 冷房とドライの調節範囲は3段階です。その他の運転は5段階です | 12 |
| 風向き変更後、フラップが何回か動く | | ● フラップの基準位置に、いったん移動してから、設定した風向きになります。 | — |

| | 症状 | 原因・対応 | ページ |
|--------|--------------------------------|--------------------------------------|-----|
| 室外ユニット | 運転停止後、すぐに運転 / 停止ボタンを押しても再運転しない | ● 圧縮機を保護する回路が働き、約3分間は運転しません。 | — |
| | 暖房運転中、「ブシュン」という音がする | ● 霜取運転を行っているためです。 | 24 |
| | 暖房運転中、湯気が出る | ● 霜取運転を行っているためです。 | 24 |
| | リモコンで運転停止後もファンが回り続ける | ● 円滑に運転を行うための動作です。 | — |
| リモコン | 操作ボタンの反応がよくない | ● 操作ボタンが汚れていませんか？ → 汚れをふき取ってください。 | 18 |

● 以上のことをご確認いただき、なお異常のあるときは運転を停止してから漏電しゃ断器を切り、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。

- ワイヤードリモコン表示部に点検マークと次の警報表示が表示された場合は、一度運転を停止し、約1分後に再運転してください。
(警報表示、消灯)
[・E04 ・E06 ・P10 ・P20 ・H06]
再度、表示されたときや、上記以外の警報表示 (E、F、H、L、P の文字と数字の組み合わせ) が表示されたときは、その内容をお知らせください。



点検マーク 警報表示 不具合が発生している 室内ユニットNo

運転のしくみ

■ 暖房能力について

- ・ 外気の熱を利用して暖房するため、外気温度が下がるにつれ暖房能力は低下します。
(ヒートポンプ方式のため)
- ・ 暖房運転開始から暖まるまでしばらく時間がかかります。(部屋全体を暖める温風循環方式のため)

■ 霜取りについて

長時間の暖房運転時、室外ユニットに付いた霜を溶かすために暖房を止めて霜取運転する場合があります。
(約5分～10分間)

■ 暖房準備について

以下の場合、エアコンは内部が暖まるまで、風速設定に関係なく微風運転を行います。このとき、リモコン表示部に「暖房準備中」が表示されます。

- ・ 運転開始時
- ・ 温度調節器が働いたとき
- ・ 霜取り時

■ ドライ運転について

- ・ 室温が設定温度に近づくと自動的に能力が下がります。
- ・ 運転が停止するとできるだけ湿気を再びお部屋に戻さないために、室内ファンは微風運転となります。
- ・ 設定温度に近づくと風速は自動的に微風になりますので、風速調節はできません。

■ 暖房運転開始時は

停止または冷房運転から暖房運転に切り換えた場合、本体保護のため約3分間は運転しません。
また運転開始後は、暖かい風が出るまでに約5分～10分程度、時間がかかる場合があります。

■ オイル回収について

冷房・暖房運転中・内部クリーン中、1～3時間ごとにシステム内のオイルを回収するため、室内ファンが停止、弱風または微風運転になることがあります。約5～10分で元の運転に戻ります。

■ リモコンセンサーについて

通常は室内ユニットの温度センサーが温度を感知していますが、リモコン周辺の温度を感知させることもできます。
詳しくはお買い上げの販売店またはサービス会社にご相談ください。(グループ制御時は設定できません。)

仕様

室内ユニット

■ 天井吊形

| 品番 (S -) | | G36TS1 | G45TS1 | G56TS1 | G71TS1 | G80TS1 | G90TS1 | G112TS1 | G140TS1 GE140TS1 | G160TS1 | | |
|-------------------|---------|-----------------|-------------------|--------|--------|-------------------|--------|---------|---------------------|---------|-------|------|
| 性 | 冷房能力 | kW | 3.6 | 4.5 | 5.6 | 7.1 | 8.0 | 9.0 | 11.2 | 14.0 | 16.0 | |
| | 暖房能力 | 標準 | kW | 4.2 | 5.0 | 6.3 | 8.0 | 9.0 | 10.0 | 12.5 | 16.0 | 18.0 |
| | | 低温 | kW | 4.2 | 5.3 | 6.7 | 8.5 | 9.5 | 10.6 | 13.2 | 17.0 | 19.0 |
| 能 | 運転音：PWL | dB(A) | 53 | | 54 | 56 | | 57 | 59 | 61 | 63 | |
| 電 | 電 | 源 | 単相 200 V 50/60 Hz | | | | | | | | | |
| 気 特 性 | 冷消費電力 | kW | 0.028 | | 0.031 | 0.042 | | 0.047 | 0.072 | 0.084 | 0.103 | |
| | 房運転電流 | A | 0.29 | | 0.31 | 0.42 | | 0.46 | 0.68 | 0.76 | 0.98 | |
| | 暖消費電力 | kW | 0.028 | | 0.031 | 0.042 | | 0.047 | 0.072 | 0.084 | 0.103 | |
| | 房運転電流 | A | 0.29 | | 0.31 | 0.42 | | 0.46 | 0.68 | 0.76 | 0.98 | |
| 外形寸法 (高さ×幅×奥行) | mm | 210 × 910 × 680 | | | | 210 × 1,180 × 680 | | | 210 × 1,595 × 680 | | | |
| 製品質量 | kg | 21 | | | | 25 | | | 33 | | | |

●冷房能力および暖房能力は、JIS B 8627 に準じて運転した場合の値です。

●運転音：PWL は音響レベルの意味で、音源が発する音響エネルギーの大きさを基にした量です。
記載は、冷房運転の急風時の値です。

点検契約について

GHP を長時間安心してご使用いただくためには、専門のサービスマンによる定期的な点検が必要です。サービス会社では定期点検契約制度を実施しておりますので、GHP ご購入時にぜひご契約ください。点検契約に加入されると点検内容による運転時間を目安に専門のサービスマンがお伺いします。詳しい契約内容はお買い上げの販売店またはサービス会社におたずねください。

■定期点検項目一覧

1年間の運転時間により定期点検回数が異なります。

下表は1年間の運転時間が2,000時間の場合を示しています。定期点検契約を結んでいただくとGHP専門のサービスマンがお伺いし、下表の点検・部品交換・調整を行います。

(訪問時期はサービスマンにおまかせください。)

| | 定期点検項目 |
|--------|---|
| 点検内容 | GHP 専門のサービスマンにおまかせください。 |
| | <ul style="list-style-type: none">● 冷却水レベル点検・補充：10,000時間または5年ごと● ドレンフィルター充填石点検・補充：10,000時間または5年ごと● 各部点検調整：弊社定期点検内容による<ul style="list-style-type: none">〔 エンジン系の点検安全保護装置の確認エンジンオイル点検・補充運転データの採取ガス漏れの確認 |
| 定期交換部品 | 各室外ユニットの取扱説明書をご確認ください。 |
| 定期調整 | ● エンジンバルブクリアランス調整：10,000時間または5年ごと |

● 室内ユニットおよび室外ユニットの熱交換器フィンにゴミやホコリが付着しますと、能力が低下し故障の原因になりますので、お買い上げの販売店またはサービス会社にご相談のうえ、熱交換器のゴミの除去や洗浄などを行ってください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

試運転お引渡し完了日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな?」(22、23ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず漏電しゃ断器を切って、試運転お引渡し完了日と右の内容をご連絡ください。

●製品名 ガスヒートポンプエアコン

●品番 ○-○○○○ (表紙参照)

●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って、出張修理いたします。

保証期間：試運転お引渡し完了日から本体1年間

※エンジン・定期交換部品は1カ年または運転時間2,000時間の短い方の期間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **9年**

当社は、このガスヒートポンプエアコンの補修用性能部品（製品機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後9年保有しています。

■製品についてのご相談や修理のご依頼は、ユニットに添付しております『お客様ご相談窓口』の「各地域の修理ご相談窓口」・「商品相談窓口」にお申し出ください。

冷媒漏えい点検のお願い

■本製品を所有されているお客様へ

フロン排出抑制法に基づく点検の実施および点検結果の点検整備記録簿への記載のお願い

- 本製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法に基づく点検の実施および点検結果の点検整備記録簿への記載を行ってください。点検整備記録簿には、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての履歴を記載してください。
- 廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第1種フロン類充填回収業者にフロン類の回収を依頼してください。このときフロン類の回収処理費用は機器廃棄者に負担いただくことになっています。
- フロン排出抑制法に基づく点検、点検整備記録簿、廃棄時のフロン類の回収の詳細については、お買い上げの販売店または弊社窓口へお問い合わせ、または下記サイトをご覧ください。

一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 <https://www.jarac.or.jp/>

一般社団法人 日本冷凍空調工業会 <https://www.jraia.or.jp/>

主要部品の点検と保全周期の目安について

■「点検周期」および「保全周期」の一覧

- 保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。
- 本表は主要部品を示します。詳細については保守点検契約に基づいて確認してください。
この保全期間は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
- 保守点検実施の場合でも予期せぬ突発的偶発故障が発生することがあります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

| 主要部品名 | 点検周期 | 保全周期 〔交換・修理〕 | 主要部品名 | 点検周期 | 保全周期 〔交換・修理〕 |
|-------------------------|------|-----------------|----------------------------|------|-----------------|
| 圧縮機 | 1年 | 20,000 時間 | 膨張弁 | 1年 | 20,000 時間 |
| モーター（ファン、フラップ、ドレンポンプ用等） | | 20,000 時間 | バルブ（電磁弁、四方弁等） ドレンパン（注3） | | 20,000 時間 8年 |
| ベアリング | | 15,000 時間 | 熱交換器 | | 5年 |
| 電子基板類 | | 25,000 時間 | センサー（サーミスタ、 圧力センサー等） | | 5年 |
| | | | 冷媒センサー | - | 5年 |

※機種によって使用しない部品があります。

注 1. 上記の一覧表は以下のご使用条件の場合です。

- ① 頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
- ② 製品の運転時間は、10 時間/日、2,500 時間/年と仮定しています。

注 2. 以下の項目に適合するときは、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

- ① 温度・湿度の高い場所、変化の激しい場所でご使用になる場合
- ② 電源（電圧、周波数、波形歪み等）や負荷変動が大きい場所でご使用になる場合
- ③ 振動、衝撃が多い場所に設置されてご使用になる場合
- ④ 塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび、硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等が飛散する場所でご使用になる場合

注 3. 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（建築物衛生法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

■消耗部品「交換周期」の一覧

- 交換周期は保証期間を表示しているものではありませんのでご注意ください。
- 本表は主要部品を示します。詳細については保守点検契約に基づいて確認してください。
- 交換周期は製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。

| 主要部品名 | 点検周期 | 交換周期 | 主要部品名 | 点検周期 | 交換周期 |
|--------------|------|----------|--------------------------|------|------|
| ロングライフフィルター | 1年 | 5年 | ヒューズ | 1年 | 10年 |
| 銀イオン系抗菌剤（注2） | | 2,500 時間 | 自然気化式加湿器（注1） | | 3年 |
| ファンベルト（注3） | | 5,000 時間 | クランクケースヒーター、 凍結防止ヒーター | | 8年 |
| 冷媒センサー（注4） | - | 5年 | | | |

※機種によって使用しない部品があります。

注 1. 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（建築物衛生法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

注 2. 銀イオン系抗菌剤は消耗品です。交換周期は一般事務所での冷房運転下におけるの周期になります。また自然気化式加湿器をご使用の場合は、暖房運転時間も加味して 2,500 時間となります。

注 3. ファンベルトは消耗品です。交換後、数日間運転を行ってからファンベルトの張り具合を見てください。また、1 か月に 1 回を目安にファンベルトの張り具合を見てください。ファンベルトは適正な張り具合が必要です。ファンベルトの調整は、据付工事説明書を確認してください。

注 4. シロキサンが多い場所（理・美容院）では冷媒センサーが検知できなくなる可能性がありますので、定期的に交換してください。

ご確認ください

■ 試運転・引渡し時の確認

| | 会社名 | 担当者名 | 実施日 |
|-----------|-----|------|-----|
| 据え付け工事 | | | / |
| 試運転チェック | | | / |
| お客様への取扱説明 | | | / |

■ 定期点検整備契約の確認

| | | | |
|-------|--------|------|--|
| 契約会社 | 電話 () | | |
| 契約日 | | 担当者名 | |
| 点検日 1 | | | |
| 点検日 2 | | | |

■ 移設について

- ・ 転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの販売店またはサービス会社にご相談ください。

便利メモ (お問い合わせや修理依頼のときのために、記入されると便利です。)

| | | | |
|----------------|----------|-----------------|----------|
| 試運転お引渡し 完了日 | 年 月 日 | 品 番 | |
| 販売店名 | 電話 () - | お近くの当社 ご相談窓口 | 電話 () - |

パナソニック株式会社 設備ソリューションズ事業部

〒370-0596 群馬県邑楽郡大泉町坂田1丁目1番1号

© Panasonic Corporation 2018 - 2023

Printed in Japan
ACXF55-20504
BE0118-50523